

9/4-3-82

教員不足が深刻です。文部科学省は昨年4月時点で「全国の人不足」との調査結果をまとめましたが、今年は多くの地域で「これだけ足りないのは初めて」という悲観が上がっています。教員からいは「じのままでは全国の学校が崩壊する」とから強い危機感が表明されています。教選選で問われる課題の一つです。

主張

教員不足の深刻化

の音量も超えてるのか。

教員は本来やりがいがあり、身分も認定した職業です。また、教員確保は教育行政の基本中の基本です。それなのになぜ、教員不足が止まらないのか。最大の要因は、学校での異常な働き方が改善されず放置されていているのです。

課題の一つです。

公立小中学校の教員は、国調査で一回平均12時間近く働き、土日も出勤しています。専門職としての属性が尊重されず、「自由がほしい」という声も切实です。

軍拡やめて教育予算を増やせ

か?」20歳の田嶋
校長(左)など、ハハハ
笑ってお詫びを贈れ
るあした。

問題解決へ最も繋がれるのは、
政府が教員の働き方の改善へ、
力を投入し真剣な対応を行って
いる。いまの事態は小手先で解
決するものではありません。日本
大発見は、緊急アンケートに無
視された現場の声を踏まえ、教職員
の大幅増などの抜本的な対策を

必要な予算を確保するためにも、明治や日本維新の会が主張する軍事費削減という途方もない軍拡路線を止めなければなりません。軍事費の倍化にかかる予算額は、文教科学予算の総額に匹敵します。そんなことを許せば、教員増の道は断たれてしまいます。軍拡では立和も築けません。

参院選で、「軍拡やめて教育予算を増やせ」「の声を示そ�ではありますか。

△ 同時△ △ 不要不急の業務の中止
△ 育児短時間勤務のための代替教員の配置△ 非正規教員の正規化△
教員の授業料返還免除制度の復活
一など15項目の直ちに実行できる
緊急の対策を提案しています。